



第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の応募受付開始

2025年6月16日

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)は、昨年度、内閣府・文部科学省・経済産業省・日本経済団体連合会・経済同友会・日本商工会議所のご支援を得て、第1回の表彰を行ったところですが、この度、下記のとおり第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」を行うこととし、その応募受付を2025年7月1日(火)より開始いたします。

VUCAの時代を生きる未来人材の育成には、初等中等教育段階のSTEAM教育や探究学習を中心とする新たな学びを「社会総出」で推進していくことが非常に重要です。本表彰制度は、新たな学びの導入・拡大において優れた活動を担う方々を表彰することにより、社会全体において新たな学びへの気運醸成が加速し、産学官公教(※)の参画と連携が促進されることを期待するものであります。結果、我が国人材が国の内外で活躍することの一助になると確信しております。

なお、昨年度開催された第1回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」では、後援して頂いた府省及び団体ならびに取組にご賛同を頂いた皆様の御協力によって全国から81件の応募を頂き、選考の結果、10件をグランプリ、2件を特別賞として表彰いたしました。

※「産」産業界、「学」大学などのアカデミア、「官」政府、「公」地方公共団体・教育委員会など、「教」小中高などの学校

本表彰制度の特徴

各々の生徒の探究活動の努力や成果に対する表彰はこれまでも実施されておりますが、本表彰は新たな学びを支え、促す社会的なフレームワークや、初等中等教育を主たる任務としない組織のプロアクティブで継続的な教育への貢献に焦点を当てます。

日本の復興には教育改革は待ったなし、そのためには「社会総出」で取り組む必要がある、というのが当法人の信念です。

記

(表彰の概要)

- ・主 催 (一社) 学びのイノベーション・プラットフォーム
- ・後 援 文部科学省・経済産業省・日本経済団体連合会・経済同友会・日本商工会議所・朝日新聞社 (以上確定分)

- ・応募資格 学校（小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学等）、研究機関、企業、経済団体、独立行政法人、地方自治体、教育委員会、科学館、博物館、学術団体、NPO法人等、及びその組み合わせ。
- ・顕彰 表彰楯
- ・受付期間 2025 年 7 月 1 日（火）～10 月 10 日（金）
- ・表彰 2026 年 1 月予定

（ホームページ）

ホームページにも本表彰について、特別ページを設けております。

https://plij.or.jp/docs/First_Guide_PLIJ_Award_Recruitment_2025.pdf

（取材対応について）

本件の取材を希望される方は、以下の連絡先にご連絡ください。

■ 本件問い合わせ先

（一社）学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)事務局

担当：中西・井畑・梅森

電話：03-5452-6621(代表) メール：info@plij.or.jp

法人ホームページ：<https://plij.or.jp/>

社会総出で若者の学びを応援する “STEAM・探究グランプリ”を募集します



PLIJは2021年9月に創設した若い法人です。STEAM教育や探究型の学びの浸透を目的としています。STEAM教育を通じて探究力を養い、世界、国及び地域において、政治、行政、産業、学術研究、芸術・スポーツ、健康・福祉、街づくり・防災分野の未来をリードしていく。

子供たちに学びの機会を提供するのは、学校はもとより、学校以外の様々な主体が貢献することが重要と考え、PLIJは優れた活動実績を有する組織を顕彰し、その功績を世の知るところにしたいと昨年度表彰制度を立ち上げました。2025年度の第2回表彰に向けて7月より募集を開始いたします。

2025年度表彰応募要領について知りたい

https://plij.or.jp/docs/PLIJ_Award_Recruitment_2025.pdf



PLIJの法人概要や活動について知りたい

<https://plij.or.jp>



PLIJのライブラリーについて知りたい

<https://community.plij.or.jp>



表彰募集期間：2025年7月1日～10月10日 表彰式：2026年1月

表彰後援組織：文部科学省 経済産業省 日本経済団体連合会
経済同友会 日本商工会議所 朝日新聞社（以上確定分）



一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

現在、企業、学校等の会員約480の方々に支えていただいています。
STEAM・探究に意欲ある方には仲間になって共に子供の成長に貢献していただきたいと存じます。

東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内
03-5452-6621 info@plij.or.jp

(一社) 学びのイノベーション・プラットフォーム概要
(PLIJ: Platform for Learning Innovation - Japan)

2021 年 9 月にSTEAM教育(※)の普及・発展をミッションに設立された一般社団法人。
(HP <https://plij.or.jp/>)

※Science, Technology, Engineering, Mathematics に Liberal Artsを加えた教科融合型、課題発見型の教育。

STEAM教育を通じた探究力の育成を初等・中等教育段階から浸透させることを目的として、「社会総出」で学びに貢献することを目指している。

PLIJの活動の主要なものは次のとおり。

- ① STEAMの学びに資する動画等のコンテンツのプラットフォーム運営 (PLIJ STEAM Learning Community 2025 年 3 月現在 1,095 件収納) <https://community.plij.or.jp/>
- ② 学びの現場へ産業人・研究人材など (メンター) を派遣するためのマッチング
- ③ 産学官公教の交流を促すイベント開催 (PLIJサマーキャンプ、女性活躍応援イベント、STEAM人材育成研究会など)

PLIJは会員によって支えられており、現在、企業会員 (正会員)、高校・大学・教育委員会など 400 超の特別会員と連携しつつ、上述のミッションの実現に取り組んでいます。

PLIJ役員

2025 年 6 月 12 日現在

理事	理事長	浦嶋 将年	元鹿島建設株式会社専務執行役員
	専務理事	田中 幸二	元株式会社日立製作所副社長
	理事	江村 克己	福島国際研究教育機構理事
		佐田 豊	株式会社東芝上席常務執行役員
		鈴木 宏治	東京都立立川高等学校統括校長
		島田 啓一郎	元ソニー株式会社執行役員
		清水 喬雄	元JSR株式会社取締役上席執行役員
		田中 敏宏	大阪大学統括理事・副学長
		年吉 洋	東京大学生産技術研究所長
		中島 さち子	株式会社steAm代表取締役社長
		中西 淳二	(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム企画・管理部長
		福田 加奈子	住友化学株式会社常務執行役員
監事		吉田 裕明	元住友化学株式会社監査役

PLIJ正会員（40 社）

2025 年 6 月 1 日現在

株式会社IHI	株式会社 島津製作所	株式会社大和証券グループ本社	株式会社日立製作所
株式会社アシックス	清水建設株式会社	株式会社竹中工務店	富士通株式会社
株式会社INPEX	住友化学株式会社	東京エレクトロン株式会社	株式会社堀場製作所
鹿島建設株式会社	住友生命保険相互会社	東京電力ホールディングス株式会社	丸善雄松堂株式会社
株式会社関電工	住友電気工業株式会社	株式会社東芝	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
KDDI株式会社	全日本空輸株式会社	株式会社図書館流通センター	三菱ケミカル株式会社
三機工業株式会社	ソニーグループ株式会社	株式会社ニコン	三菱地所株式会社
JX金属株式会社	太陽誘電株式会社	日鉄エンジニアリング株式会社	三菱商事株式会社
JFEスチール株式会社	第一三共株式会社	日本製鉄株式会社	三菱電機株式会社
株式会社JTB	大日本印刷株式会社	日本電気株式会社	吉本興業ホールディングス株式会社

PLIJ特別会員（438）

中学・高校 251、高専・専門学校・大学 89、行政庁・国立研究開発法人・独立行政法人 16、自治体・教育委員会 44、博物館・科学館 33、支援団体 5



一般社団法人
学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

〒153-8505
東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所内
[電話]03-5452-6621 [FAX]03-5452-6623

PLIJ STEAM・探究グランプリ

応募要領



一般社団法人
学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

第 2 回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」応募要領

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム

2025 年度に実施する 第 2 回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の応募要領を次のとおり定める。

1. 目的

社会の持続的発展のためには、多様な価値創造力を有する未来人材の育成が大事であり、それらの資質を養う STEAM 教育や探究学習を中心とする新たな学びを社会全体で推進し、さらに継続的で横連携したシステムに築き上げていくことが非常に重要である。このため、STEAM 教育や探究学習の充実に資する社会からの貢献活動や社会からの貢献を受け入れるスクールマネジメントなどの優れた活動を担う者を表彰し、その努力を顕彰するとともに、広くその功績を周知・浸透させる。このことにより、社会全体の気運の醸成が加速され、産学官公教の関係主体の一層の参画による学びのシステムが進化することを目指す。

2. 主催・後援

- 主催 (一社)学びのイノベーション・プラットフォーム
- 後援 文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、朝日新聞社 (以上確定分)

3. 賞の種類

「PLIJ STEAM・探究グランプリ」および「朝日新聞社賞」とする。(ほかに PLIJ STEAM・探究グランプリ特別賞があるが、選考委員会が選定することとされており、応募対象には該当しない。)

4. 評価の対象

次の二つの活動を本表彰制度の評価の対象とし、これらに該当する活動の当事者からの応募により選考を行って、受賞者を選考する。

(1) STEAM 教育、探究学習などの実践を支える社会的なフレームワークに注目し、その成果が顕著なもの

- 産・学・官・公・教が連携(部分的な連携も含む)して新たな学びを支える活動
(例)STEAM 教育、探究学習に取り組んでいる学校が企業・大学等との協力(出張授業、企業現場や研究室見学受け入れなど)を得て、より広く、深い STEAM 教育・

探究学習につながっている活動

- 産・学・官・公・教が連携した地域の教育エコシステムの構築

(例)STEAM 教育、探究学習の充実のため、地域の産学官公教の主体が、学校のニーズに応じて、それぞれの主体が持てるリソースを学校に提供する地域のフレームワークの運営

(2)STEAM 教育及び探究学習に係わる社会貢献活動やアウトリーチ活動として継続反復する活動

(家庭・学校以外のサードスペースでの活動を含む。)

- 企業、団体が社会貢献活動の一環として新たな学びを支援する活動

(例)企業や経済団体が方針として学びへの支援を位置づけ、継続反復して、学校や学生・生徒の学びを支援する活動

- 大学、研究機関がアウトリーチ活動として生徒の学びに対して積極的に支援する活動

(例)大学、高専、研究機関が持てる研究人材や研究設備を生徒に提供し、学校では体験できない研究経験を提供する主催者の組織的プログラム

5. 応募資格

学校(小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学等)、研究機関、企業、経済団体、独立行政法人、地方自治体、教育委員会、科学館、博物館、学術団体、NPO 法人等、及びその組み合わせ。

6. 選考

PLIJ STEAM・探究グランプリについて、以下の評価基準をもとに事務局で候補リストを作成し、設置予定の選考委員会にて審議の上、最大 10 件の受賞者を決定する。

後援組織等から交付される賞の選考は、上記受賞者の中から選定する。

評価基準	
活動の有用性	・ 従来の学びに比して、活動実施により加えられた学びの価値は何か。 ・ 生徒の成長が認められる有意な効果があったか ・ 学びに貢献する側(企業や大学等)に、たずさわった人材の成長やエンゲージメント向上など、プラスの効果があったか。 ・ 活動によって、学びを経験した生徒の累積人数等、地域社会の学びにインパクトがあったか
活動における社会連携	・ 連携の当事者主体間の主導性と各当事者の役割はどうか。 ・ 連携を推進するためにどういった工夫を講じているか。 ・ 当事者主体間で実践の評価を共有しているか。

活動の継続・発展性	・ 活動の活動実績(規模、継続期間、頻度) ・ 活動継続に関する今後の予定 ・ 今後どのような発展が期待できるか。
活動の新規性・独自性	・ 新規性や独自性のある要素が含まれているか。 ・ 学びのイノベーションにつながったか。

7. スケジュール

- 応募受付 令和7年7月1日～
- 応募締切 令和7年10月10日
- 審査 令和7年10月～12月(予定)
- 審査結果公表 令和8年1月(予定)
- 表彰式 令和8年1月(予定)

8. 応募手続き

➤ 提出書類

● エントリーシート(必須)

エントリーシート中の「3. 活動の内容」には、なるべく活動の開始時期とその後の進展、累積対象者数(概数でも可)を記載してください。また、公的資金の支援があるかないか、学びの場と社会の側のそれぞれの貢献、努力、工夫などについて記載してください。

Word形式

<https://plij.or.jp/docs/Entrysheet PLIJ Award Recruitment 2025.docx>

● エントリーシートの内容を補完する資料(任意)

※事務局まで郵送もしくは e-mail にて提出する。FAX による提出は不可とする。

➤ 申込締切

令和7年10月10日 必着

➤ 応募書類提出先

〈郵送〉

〒152-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所
(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム
「PLIJ STEAM・探究グランプリ」 担当者 宛

〈メール〉

info@plij.or.jp

※添付データが 6MB 以上になる場合は、問い合わせ先までご連絡ください。
別途送付方法をご連絡いたします。

9. 注意事項

- 提出資料等の返却は行わないものとする。

- 選考過程および選考結果に関する問い合わせには応じないものとする。
- 応募組織名・個人名や活動内容について、新聞・雑誌・当法人サイト等インターネットでの公表に同意するものとする。また報道関係からの取材の際には、応募者に対して協力を依頼することがある。
- 受賞者には、表彰式への出席、および表彰の対象になった活動についての講演をお願いする。また、世の中への発信など、表彰の趣旨である優れた取組みの周知による社会への展開にご協力いただく。
受賞者が表彰式に参加し、活動内容のご紹介を頂くにあたって代表の方 1 名の旅費を支給する。

10. 個人情報の取り扱いについて

応募者の個人情報は、選考及び運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切無いものとする。また応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することは無いものとする。

11. 問い合わせ先

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)事務局 担当:井畑
電話:03-5452-6622(代表) メール:info@plij.or.jp
法人ホームページ:<https://plij.or.jp/>

以上

第 2 回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」エントリーシート

1. 活動の名称(活動の概要が分かるよう簡潔に 30 文字以内でご記載ください。)
2. 活動参加組織(複数組織による活動の場合は軸となる組織に※印を付して下さい。)
3. 活動の内容(概要)
(注 1)活動の開始時期とその後の進展、累積対象者数、学校の場合は外部からの資金面の支援があれば記載ください。 (注 2)学校と社会の側からの連携の場合、双方が努力したことについて触れてください。
4. 別紙補足資料の概要(タイトル)

本件に関する連絡先

所属組織、担当者名	
連絡先住所	
電話番号	
メールアドレス	

5. 下記評価基準に関連し、活動における具体的な説明、工夫した点等をご記入ください。

有用性：

社会連携：

継続・発展性：

新規性・独自性：

リアル会場参加では、講演後の登壇者に直接質問できます！



7/19 2025
Sat.
14:30~ 17:00

電気・電子・情報分野に フォーカス

●ファシリテーター

西村 佳壽子 様 (ソニー)

●登壇者

- ・岩城 春香 (ソニー)
- ・佐藤 祐貴子 (東京電力HD)
- ・長城 沙樹 (日本電気)
- ・岡安 明香 (富士通)
- ・山口 智香 (三菱電機)

お申込み方法

右記のQRコード、または以下リンクから
Zoomウェビナー／現地参加登録をして
お申し込みください(参加費無料)。

https://us02web.zoom.us/join/register/WN_iV4nad7ZROu1bV9BAlMmq

問合せ: (一社)学びのイノベーション・プラットフォーム事務局
info@plij.or.jp



共催予定 東京都教育委員会 千葉県教育委員会
埼玉県教育委員会

7月12日

ファシリテーター：住友化学 常務執行役員 福田 加奈子

建物・インフラは、デザインに始まり、工事段階になると、多様な部品を現場で組み合わせていくマネジメントが必要になります。地震国ならではの耐震、働き方を現代化するロボット導入、快適な居住環境等の最新技術の導入も必要です。

化学は、広範な基礎資材の提供により産業や生活を支えます。薬品は健康長寿のエッセンシャル産業です。

鹿島建設 建築管理本部 建築設備部 大貫 かおる

鹿島建設入社15年目。現在グループ会社に出向し現場への人材・技術支援を担当。

三機工業 東京支社 空調衛生設計1部 小佐部 葵

建設現場で空調衛生設備の施工管理業務を経験し、現在東京で空調設備設計に従事。

清水建設 土木東京支店 外環大泉建設所 後藤 笑加

入社8年目、施工管理や現場支援の後、産育休を経てシールド現場で原価管理を担当。

竹中工務店 東京本店 設計部 設計第3部門 関 優洋子

入社7年目。新しい建物のデザインをし、完成するまで一気通貫して携わっています。

第一三共 研究開発本部 研究統括部 高橋 智美

入社5年目、品川研究開発センターで中枢神経疾患の新薬の薬理研究をしています。

住友化学 生活環境事業部 ブランド製品マーケティング部 猪爪 舞花

入社7年目、研究・品質保証～事業部で殺虫剤成分の開発担当で、顧客対応にも従事。

7月19日

ファシリテーター：ソニーセミコンダクタソリューションズ

研究開発センター 第1研究部門 シニアリサーチャー 西村 佳壽子

AI、半導体、ロボット、そして、ユーザーを巻き込んでDX(デジタルトランスフォーメーション)が世界中でキーワードとなっています。エンタテインメントは世界が注目する成長産業です。チャレンジングなテーマにあふれています。

ソニー・インタラクティブエンタテインメント 基盤システム・エクスペリエンス設計本部 岩城 春香

Playstation5のユーザー体験向上のために、ソフトウェア基盤の設計・開発に取り組んでいます。

東京電力HD 技術戦略ユニット 技術統括室 知的財産室 佐藤 祐貴子

入社10年目。原子力分野の特許出願、および商標出願を担当しています。

日本電気 デジタルプラットフォームサービスBU AIビジネス・ストラテジー統括部 長城 沙樹

入社8年目で、ディレクターとして、NECのAI事業を牽引しています！

富士通 総務本部 ワークスタイル戦略室 岡安 明香

2018年入社。社員の出社や位置を知るサービスを開発し、働き方改革を推進。

三菱電機 先端技術総合研究所 ロボティクス技術部 山口 智香

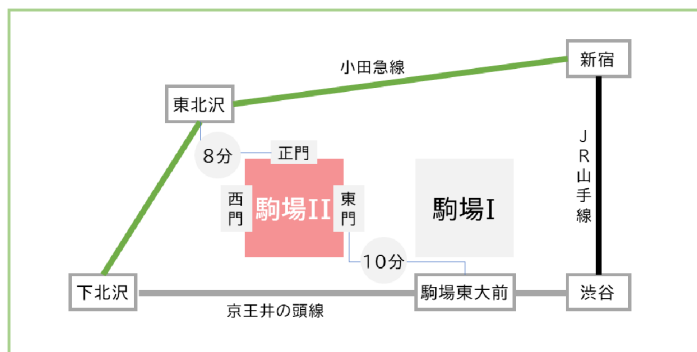
移動ロボットやドローンを使い人の仕事を手助けする研究開発に取り組んでいます。

会場案内

駒場東大前駅に隣接する
駒場Ⅰキャンパスとは異なります。
ご注意ください。

◆小田急線／東北沢駅より徒歩8分(各駅停車のみ)

◆京王井の頭線／駒場東大前駅(西口)より徒歩10分(各駅停車のみ)



当日連絡先

03-5452-6621(PLIJ事務局)

駒場Ⅱキャンパス





高校生向け産業探訪シリーズ(第1回)

“未来社会デザインとメタラジー”

@東京都立立川高等学校

金属は鉄や銅といった馴染みのある国民生活に必須の基礎素材である。エッセンシャルインダストリーである。この産業がサステナブルに発展するための課題を未来の担い手である高校生と我が国の代表的な産学の研究者及びエンジニアと共有する。このセミナーが、これからのキャリアパスについて考えるきっかけになれば。

14:30-15:10

- 開会挨拶 PLIJ代表者
- 司 会 立川高等学校生徒

<第一部> 基調講演

- 「未来社会デザインとメタラジー」
田中敏宏／大阪大学理事・統括副学長(30分)

15:10-15:55

<第二部> メタラジーの課題・最先端技術

- 「世界は鉄でできている-未来のクルマと環境への挑戦-
西畑ひとみ／日本製鉄株式会社技術開発本部鉄鋼研究所(15分)
- 「環境と安全を両立する新しい建築用高強度鋼のチカラ」
中山俊一／JFEスチール株式会社スチール研究所構造材料研究部(15分)
- 「地球とテクノロジーをつなぐ金属:先端材料とリサイクル」
久家俊洋／JX金属株式会社技術本部(15分)

15:55-16:30

<第三部> パネルディスカッション

- ファシリテーター 岡部徹／東京大学副学長・教授
- パネルディスカッション 参加高校生vs全登壇者との質疑中心
- クロージング 立川高等学校教員代表



2025
7/15 火
14:30~16:30

お申込み方法

QRコード、または以下リンクから、お申込みください。
参加費無料です。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Jiw7r3WGS5eCn_o0SkBHmA



※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。

問合せ先:一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
事務局:info@plij.or.jp

今回のセミナーの参加者は立川高等学校の生徒さんになります。
他校の生徒さん教員はZoomウェビナーで視聴ください。

主催 一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)
協力 東京都立立川高等学校

プロフィール

大阪大学 田中 敏宏

大阪府立三島高校から大阪大学工学部冶金工学科に進学。卒業後、大学院に進み、1985年博士課程修了、工学博士、同工学部助手。1989年から1年間アーヘン工科大学理論冶金研究所に留学。1995年大阪大学工学部助教授。2002年大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻教授。2015年工学研究科長・工学部長。2016年大阪大学総長参与。2018年株式会社中山製鋼所社外取締役。2019年大阪大学理事・副学長。2018年日本鉄鋼協会会長。

東京大学 岡部 徹

筑波大付属高校から京都大学冶金工学科へ。博士終了後、東北大学素材工学研究所（現：多元物質科学研究所）の助手として5年間勤め、2001年より東京大学生産技術研究所の助教授に着任し、同研究所の准教授を経て、09年から教授に就任した。19年から21年まで東京大学 副学長に就任。21年から24年まで東京大学生産技術研究所 所長。24年から東京大学 副学長に就任。専門分野は、材料化学、環境科学、循環資源工学、レアメタルプロセス工学。

日本製鉄 西畑 ひとみ

県立新潟高校から東北大学工学部へ進学、2003年に博士前期課程を修了し、住友金属工業（現：日本製鉄）に入社。兵庫県尼崎市にある研究所にて、自動車用鋼板の溶接技術開発に従事。2014年からは鉄鋼材料の基礎研究分野に携わり、この間2016年に社会人ドクターとして東北大学で博士号を取得。2021年より、再び自動車用鋼板の材料開発・加工技術開発に従事。

JFEスチール 中山 俊一

2010年に東北大学工学部の材料科学総合学科に入学。大学では金属のミクロ組織と強度について研究し、2019年に博士課程を修了。その後、JFEスチールに就職し、現在は高層ビルに使われる厚鋼板の研究・開発を担当。持続可能で安心して暮らせる社会の発展に向け、従来商品を超える高性能な新商品開発に取り組んでいる。

JX金属 久家 俊洋

JX金属において酸化物系スパッタリングターゲットや先端半導体用材料の研究開発に従事。その後東北大での博士号取得を経て、現在先端半導体向け新規材料の技術企画を担当し、新規材料提案や開発戦略の立案を通じて、材料メーカーとして半導体産業の進展に貢献することを目指す。

日本製鉄株式会社

日本製鉄は、日本で最大手、世界でもトップクラスの鉄鋼メーカーであり、日本国内および世界15カ国以上に製造拠点を展開しています。日本製鉄グループは、製鉄事業を中核に、エンジニアリング事業、ケミカル&マテリアル事業、システムソリューション事業の4つの分野を推進。「国内製鉄事業の再構築とグループ経営の強化」、「海外事業の進化、拡充に向けたグローバル戦略の推進」、「カーボンニュートラルへの挑戦」、「デジタルトランスフォーメーション戦略の推進」を経営計画の4つの柱としています。「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」を目指し、世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

JFEスチール株式会社

JFEスチールは高炉を所有し、鉄鉱石を原料に最終製品の生産までを一貫して行う鉄鋼メーカー（高炉メーカー）です。世界トップクラスの鉄鋼生産規模を持ち、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」という企業理念のもと、お客様や社会のニーズに応える鉄鋼製品をグローバルに提供しています。また、最先端の環境調和型製鉄プロセスの構築や、高機能鋼材の開発を通じて、製造工程はもとより製品においても環境負荷の低減に貢献しています。JFEスチールの生産拠点は、東西の臨海型の大型製鉄所、パイプの専門工場である知多製造所と棒鋼・線材専門工場である仙台製造所で構成され、最先端の技術力による高品質な鉄鋼製品の生産を、効率的に行っています。

JX金属株式会社

JX金属は非鉄金属業界のリーディングカンパニーとして、銅・レアメタル・貴金属などの非鉄金属資源と先端素材を供給しています。資源開発から金属製錬、先端素材の開発・製造、環境リサイクルにいたるまで、確かな技術に立脚した幅広い事業を通して、これからも社会の持続可能な発展に貢献していきます。JX金属は資源開発から金属製錬、IoT・AI化が進展する社会に欠かせない先端素材の製造・開発、さらには使用済み電子機器からのリサイクルまで、銅・レアメタルを中心とした非鉄金属に関する一貫した事業展開をグローバルに行っています。国内をはじめ、アジアや南米を中心に世界66拠点を設け、グローバルに事業を展開しています。

東京都立立川高等学校

～集え、未来の開拓者たち！個性と多様性を尊重し、豊かな心と夢を育みます～

本校は、明治34年（1901年）に東京府第二中学校として開校した都内屈指の伝統校です。「質実剛健」と「自主自律」を校風とし、これまで社会の様々な分野で活躍する数多のリーダーを輩出してきました。平成15年度に東京都教育委員会から「進学指導重点校」、平成30年度に文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受け、令和4年度からは、「普通科」と「創造理数科」を併せもつ都立高校として、新たな1ページを刻み始めています。SSHの取組の柱は「課題研究」、「国際性の育成（英語教育）」、「本物体験」、「教科教育」の充実です。文系・理系を問わず、科学的思考力等の育成を図り、将来、様々な分野で活躍する人材の育成を目指しています。（統括校長 鈴木宏治）

PLIJサマーキャンプ 2025

～AI時代を迎えて、学びのあり方は～

参加者募集リーフレット

2025年8月5・6・7日
会場:東大駒場IIキャンパス
協力:東京大学生産技術研究所

6/11



一般社団法人
学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

name

PLIJサマーキャンプ2025に寄せて

我が国においては予てから、IT人材不足が指摘されてきた。ここに来て、DX(デジタルトランスフォーメーション)が急務となり、デジタル人材の育成が急務となっている。

一方、AI(人工知能)の革新には目覚ましいものがあり、未来人材には、AI開発のみならず、AIの活用を加速するためにも、AIを知り、AIとうまく付き合っていく必要がある。AIは、社会や組織運営にパラダイムシフトをもたらすが、教育や学びも例外ではない。サマーキャンプ2025はこのような時代背景のもとに、今後の学びのあり方について、関係する多様なステークホルダーと議論を交わす機会として計画した。

プログラムの構成は、①参加者から好評のワークショップを軸とし、②基調講演等やパネルを通じて多面的な角度からの問題意識を吸収いただく、③高校生チームに半年かけて生成AIを駆使する開発成果を披露いただくことにより、高校生の成長ぶりを実感していただくこととした。PLIJとしては、DX、AIを専門とする方のみならず、幅広い層の方の参加をお願いし、AIの民主化の一助になれば幸いである。

開催概要

●開催日程:2025年8月5日(火)～8月7日(木)

●開催場所:東京大学生産技術研究所 An棟2階コンベンションホール(メイン会場)

●参加申込み期限:2025年7月25日(金)

※準備の都合上、6月末までの申し込みをお願いできれば幸いです。

●対象:産(企業)学(大学・高専)官(国の行政機関、国立の研究機関)公(地方公共団体)教(高校等の学校教員)のSTEAM教育に意欲をもつ者200名程度

●参加者へお願いする事前準備:

昨年と同様、参加者の見解をパワーポイント1枚におまとめいただきます。2025年7月25日までに事務局に送付してください。8月5日に来場された際に、全員の見解集を詳細プログラムとともにお渡しいたします。見解は、STEAM/探究についての見解でも結構ですし、「AI時代を迎えた、学びのあり方」に着目いただける方は、以下のお題を参考にしてください。

【事前課題のお題】

1. 会社、学校、研究室等の職場での業務に生成AIを活用して効果をあげているグッドプラクティスについて具体例を教えてください(教員の方にあっては、職場を教室と読み替えてください)。
2. AIの進化は将来(5・10年後)の社会や所属する組織にどのようなパラダイム変化を予想しますか(教員の方にあっては、社会を教室と読み替えてください)。
3. AI人材育成に大事だと思う学びや方策について、課題なり所見を述べてください。

※キーワードの例示:AIの民主化、最先端研究への人材投入、AIの特質を利用した個別最適な学び、STEAMの学びとの親和性、個別教科へのAI活用、進化するAIの自分事化の難しさ、企業の役割、大学研究機関の役割、行政の役割と連携、企業において確保したい人材像の提案

●参加費:1万円を申し受けます(会員特典:正会員は2名まで無料、特別会員は8,000円)。事前の銀行振込みを推奨させていただきます。来場時にお支払いいただくことも勿論可能です。領収書を発行します。その他のお支払いの場合は事前にご相談ください。こちらもお申し込み後、詳しくご案内いたします。

サマーキャンプ2025プログラム

	【1日目】 8月5日(火)
AM	
	12:00～ ●受付
PM	13:00～13:05開講 ●PLIJ代表挨拶
	【オープニングセッション】 13:05～14:30 ●基調講演
	東京大学総長 藤井 輝夫
	●対談
	カーネギーメロン大学創始者記念全学教授 特定非営利活動法人サクラテンバスタ理事長 金出 武雄 寺崎 優葵
	14:30～14:35 ●写真撮影
	14:45～15:45 ●講演(国の取り組み)と質疑
	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局企画官 寺坂 公佑
	文部科学省初等中等教育局教育課程課学校教育官 堀川 拓郎
	経済産業省商務・サービスグループサービス政策課教育産業室企画官 吉田 直樹
	【アイスブレーキングセッション】 16:00～17:30 ●ワークショップ(1)「生成AIを使ってどこまで達成できるか」 ①25名程度のWGを組織し、 ②参加者が5名1組のチームに分かれ ③生成AIを駆使、成果物を得る体験をチームで共有する試み
	<リーダー> 東京大学生産技術研究所准教授 菅野 裕介 <TA> 東京大学生産技術研究所 大学院生
ナイトセッション	18:00～20:00 ●懇親会(ホワイエ(コンベンションホール前))

サマーキャンプ2025プログラム

【2日目】 8月6日(水)		
AM	【AIセッション「AI時代の学び」】 09:00～10:30 ●パネルディスカッション(1)「AI人材育成」	
	SB Intuitions株式会社取締役 兼 CRO 富士通株式会社AI戦略本部シニアマネジャーGlobal-FDE	井尻 善久 寺島 眞生
	東京都立小岩高等学校主任教諭 東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻准教授	棕本 哲也 吉田 壘
	<ファシリテーター> 東京大学生産技術研究所准教授	菅野 裕介
	10:40～12:10 ●パネルディスカッション(2)「学びの現場の在り様」	
	千代田区立九段中等教育学校主任教諭 東京大学先端科学技術研究センターシニアリサーチフェロー やまがたAI部運営コンソーシアム会長/株式会社オーツー・パートナーズ代表 朝日新聞社編集委員(こども・教育)	市川 淳尉 中邑 賢龍 松本 晋一 宮坂 麻子
PM	<ファシリテーター> 株式会社日立製作所研究開発グループ 先端AIイノベーションセンタシニアプロジェクトマネージャ	保田 淑子
	12:10～ ●昼食(各自)	
	【デモンストレーション】(筑波大学落合陽一研究室との共同開催) 13:00～15:30 ●デジタルヒューマンディベート	
	<プロローグ>	筑波大学准教授 落合 陽一
	<出場チーム>	埼玉県立大宮高等学校 渋谷教育学園渋谷中学高等学校 東京都立戸山高等学校 クレアシオン大宮 渋谷 ToyaMind
	<司会>	お茶の水女子大学附属高等学校 生徒有志
PM	<審査委員講評>	東京大学総長 カーネギーメロン大学創始者記念全学教授 筑波大学准教授 藤井 輝夫 金出 武雄 落合 陽一
	【ワークショップセッション】 16:00～18:00 ●ワークショップ(2)	
	①参加者全員がプレゼン(事前資料)を行い ②WG全体の討論を経て ③議論の総括の方向性について議論し、 ④まとめセッションにおいて、代表して発表するプレゼンターを選定する	
	<ファシリテーター>	一般社団法人UNIVA代表理事 東京大学副学長/生産技術研究所教授 日鉄エンジニアリング株式会社営業統括部長 武蔵野大学附属千代田中学校・高等学校校長 PLIJ理事 東京大学生産技術研究所所長 石原 誠太 岡部 徹 折笠 光子 木村 健太 島田 啓一郎 年吉 洋
ナイトセッション	18:00～19:00 ●交流会(ドリンクのみ)	

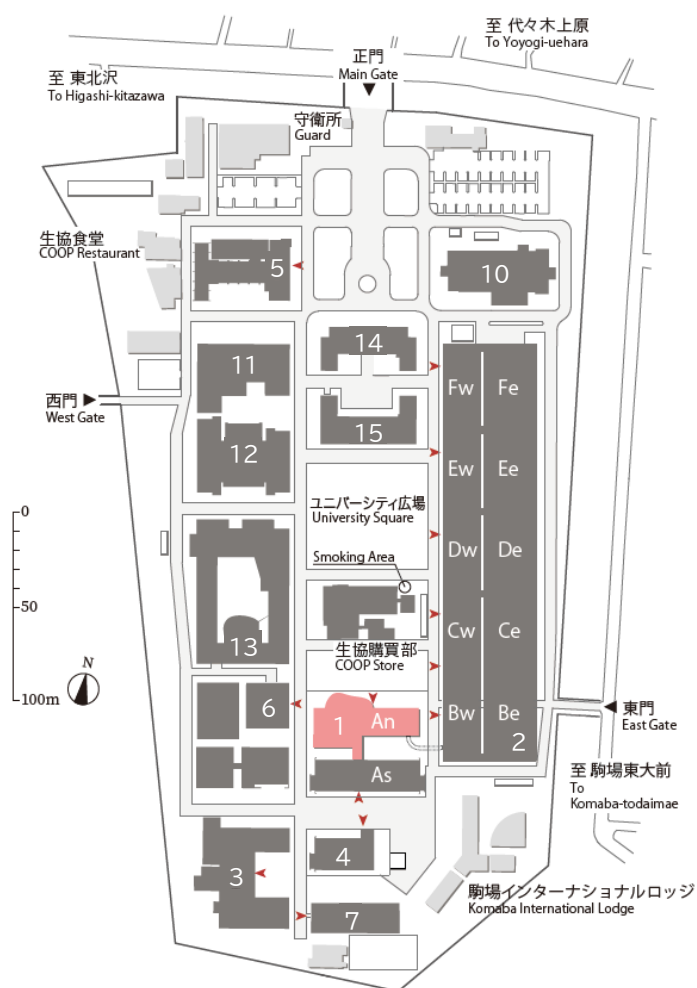
サマーキャンプ2025プログラム

[illegible]

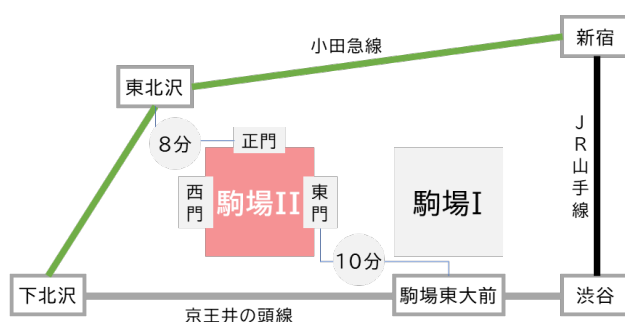
会場案内

駒場東大前駅に隣接する駒場 I キャンパスとは異なりますのでご注意ください。

駒場リサーチキャンパス
Komaba Research Campus



- 小田急線東北沢駅(各駅停車)より、正門経由徒歩13分
- 京王井の頭線駒場東大前(各駅停車)より、東門経由徒歩11分



会場

An棟 2階コンベンションホール

- 1 総合研究実験棟(An棟) ➡【会場:2階コンベンションホール】
総合研究実験棟(As棟)
 - 2 研究棟(B-F棟)
 - 3 研究棟(S棟)(60年記念館)
 - 4 研究棟(T棟)
 - 5 試作工場(テクノサポートセンター)
 - 6 食堂コマニ
 - 7 プレハブ図書棟
-
- 10 1号館
 - 11 3号館
 - 12 3号館南棟
 - 13 4号館
 - 14 13号館
 - 15 14号館

PLIJサマーキャンプ2025申込用紙

(一社)学びのイノベーション・プラットフォームあて

メール info@plij.or.jp

FAX 03-5452-6623

提出日2025年 月 日

氏名(漢字) ※姓と名の間にスペースを入力ください		
しめい(ひらがな) ※姓と名の間にスペースを入力ください		
所属・役職		
所在地		
携帯電話番号		
メールアドレス		
領収書の宛名		
ノートPC(※)のご持参 ※生成AIのWS、WS資料作成等で使用	もしノートPCをご持参いただくことが 可能な場合は、右に○をご記入ください。	記入欄
生成AIのご経験	生成AI(大規模言語モデル)を業務で定期的 にご使用されている場合は右に○をご記入ください。	記入欄
8/7午後研究所見学 ※○印をつけてください	希望する	希望しない

個人情報の利用目的・取り扱いについて

- 個人情報の利用目的
 - ・ 本イベント参加者管理のため / 会場内遺失物の連絡等、業務上の連絡のため / PLIJに関する他のイベントの案内のため
- 個人情報の取り扱い
 - ・ ご記入いただいた個人情報は、管理責任者を定め、紛失や漏洩が発生しないように努めます。
 - ・ ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。
 - ・ PLIJのプライバシーポリシー(個人情報保護に関する基本方針)は以下のページにてご確認ください。
https://plij.or.jp/docs/privacy_policy.pdf

Googleフォームでも受け付けしています。

ご入力いただける方はGoogleフォームから申し込みをお願いします。

【URL】

<https://docs.google.com/form/s/d/e/1FAIpQLSeF472wgd3PWLPpbEhmlrIHZ-XuyxknkwhHYrSsv0g4KcFrWpg/viewform>



(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム事務局

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
東京大学生産技術研究所内

03-5452-6621 info@plij.or.jp